



校長だより

# 日中丸



第 17 号  
H30. 10. 19

日間賀中学校長  
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

## 「親子ふれあいひろば」参加 10.17(水)

3年生の家庭科の授業には、「幼児の生活と家族」という学習があります。この学習のねらいは、「遊び道具の製作や幼児と触れ合う活動などの実践的・体験的な学習活動を通して、幼児に関心をもち、幼児の心身の発達と生活、それを支える家族の役割や遊びの意義について理解し、幼児とのかかわり方を工夫できるようにする」ことです。また、南知多町では、乳幼児を子育て中の親子を対象に、「親子ふれあいひろば」が開催されています。今回は、3年生が幼児とのふれあいを通して学習のねらいと見通しをもつために、「親子ふれあいひろば」に参加しました。

はじめはおそろおそろ接していた3年生でしたが、すぐにお互い打ち解け、笑顔で幼児と一緒に遊びました。今回の活動で3年生は、保育について学ぶとともに、10数年前の自分の姿を思い出したことでしょう。「ふれあう」姿がたくさん見られた、素敵な時間でした。





## 松久先生研究授業 10.18(木)

社会の授業研究を行いました。本校では、1時間の授業のめあてをしっかりと理解させることと友達と学びあいながら理解を深めることを中心に、研究に取り組んでいます。

今日は、中部地方の人口や産業の特徴を調べました。3つの観点で調べることを確認した後、まず一人で、次に同じ観点の友達と調べたり話し合ったりして、最後に黒板にまとめました。活発に話し合う生徒の姿を見ることができました。



## 朝会より 10.15(月)

### 生徒発表（10月のテーマ：最近感謝したことについて）

#### 宮地颯志さん（1年）

僕が最近感謝したいことは、友達です。僕は友達が多いわけではありませんが、友達と遊ぶことが好きです。そして、「家に行っている？」と聞かれるとうれしくなります。さらに、友達がいれば、授業で分からないところも一緒に教え合うことができるので友達には感謝したいです。

やはり、友達はいればいるほどよいものだと思います。たまにケンカすることもあるけれど、「ケンカするほど仲がいい」という言葉があるように、それもいいのかと思います。また、友達と遊ぶと楽しいし、うれしくもなります。僕はまわりの友達に感謝しています。最近、友達と遊んでいない人は、遊んでみてください。

#### 岡田葉奈さん（2年）

私は最近、部活動で使っている道具に感謝しています。私が所属している卓球部では、練習に使う練習球と試合で使う試合球があります。

練習球はたくさん球を打つ「多球練習」を行うときにうっかり踏んでしまったり、古くなった練習球を強く打つとヒビが入って割れてしまったりすることがあります。今年の4月頃に、前の顧問の保先生から2箱もらいましたが、その数と同じくらい練習球は使えなくなっています。

試合球に関しては、練習球より値段が高いです。少し前に試合をしたときに、1球割ってしまいました。

卓球には、練習球や試合球の他にも、ラバーやラケットも必需品です。使い方によって傷ついてしまうこともあります。私は、何度も傷つけてしまったことがあります。卓球ができるのは、これらの道具があるからです。物に感謝して、これからも卓球をしたいです。

### 校長の話

### こんな話をしました。

先週の木曜日と金曜日に京都へ出張に行ってきました。木曜日は京都市内でいろいろな学校の様子を聞き、金曜日は伊根小学校というところへ行ってきました。京都というと、小学校の修学旅行で見た金閣寺や清水寺などを思い浮かべるかもしれませんが、伊根というところは日本海側にある街で、「舟屋」で有名なところ。「舟屋」というのは船を収納する場所の上に部屋がある伝統的な建物です。この「舟屋」を見るために、毎年30万人近い観光客が訪れるそうです。

その伊根小学校で、総合的な学習の時間を見学しました。全校児童43人が体育館に集まり、3人くらいのグループに分かれて、自分たちの住む伊根について調べたことを多くの先生たちに発表しました。漁業や観光が盛んなこと、その漁業や観光を支えている人たちのこと、さらには、おいしい給食を作ってくれる調理員さんがいることなど、伊根の魅力を発表してくれました。みんな笑顔で、うれしそうに話していました。全員が「伊根が大好きだ」と話していました。でも、「伊根が大好きだ」ということは、話さなくてもその表情から分かりました。その様子を見ていて、私の頭に思い浮かんだことがあります。それは、3年生の修学旅行です。東京駅でPR活動をしていた君たちの姿を思い出しました。笑顔で、うれしそうに日間賀島をPRする君たちの姿と同じでした。「大好きな日間賀島」をPRする君たちの姿そのものでした。

自分の生まれ育った街のことを「大好き」と思えることはすてきなことです。君たちには、これからも「日間賀島が大好きだ」という思いを大切にして、日間賀島や日間賀中学校のためにできることを、「やる気」をもってがんばってほしいと思います。